

平成28年度 事業報告

平成28年度の熊野市シルバー人材センターの事業運営につきましては、新たな事務局体制のもと、センターの基本となります自主・自立、共働・共助の理念に基づき、会員が自主的・主体的に連帯して運営し、お互い協力し合いながら共に働き、共に助け合っていくことの原点にかえり、この1年間活動を進めてまいりました。

とりわけ、新規開拓事業としてシルバー派遣事業において中学校給食の配送及び回収業務を株式会社魚国と労働者派遣基本契約を締結し、現在、会員3名を派遣しています。

また、安全就業については、安全就業委員会において、会員の安全就業の確保を図るための安全就業チェックリストの検討を行い、29年度からそのリストを活用していくこととしましたが、安全就業マニュアルの作成については引き続き、委員会による検討を進めていくこととしています。

決算状況では、業務の契約件数は、派遣事業1件を含めて973件であります。これは、平成27年度と比較して、128件少ない契約件数となっております。

契約金額につきましては、派遣事業 1,323,407円を含めて総額34,876,652円で前年度と比較して1.4%、495,755円の増加となっております。

収支においては、結果的に20,854円の赤字を計上することとなりましたが、これは、御浜町からの受注分がなくなったことによるものです。

一方、シルバー人材センター会員の年間の就業状況を示す就業率は、86.1%で、昨年度と比較して、1.8ポイントの増加となっております。

第1次中・長期基本計画の見直し年度であったことから見直し委員会を設置して、会員拡大、受注件数、契約金額、就業実人員、就業率の目標及び適正就業の推進について現実の推移に即した目標数値に修正を行ったほか、適正就業についても平成28年4月1日から「適正就業基準に関する要綱」に基づき、会員に安全で公平な就業機会を提供することとしました。

今後も、健康で豊富な知識と経験をもつ高齢者の方々に幅広く就労の機会を提供し、働くことを通じ、高齢者の社会参加と生きがい及び健康づくりを進めるとともに、地域住民が快適な日常生活を維持していくための環境整備、活力ある地域社会の実現に向け、役職員、会員一丸となってシルバー人材センターの事業運営を進めてまいります。

平成28年度に実施した主な事業と概要は、次のとおりです。

1 組織運営について

(1) 理事会の開催

開催日	回数	協議内容
5月9日	第1回理事会	① 平成27年度事業報告について

5月9日	第1回理事会	② 平成27年度収支決算報告について 監査報告 ③ 平成28年度定時総会について ④ 理事の選任について
5月21日	第2回理事会	① 常務理事の選定について
9月21日	第3回理事会	① 平成28年度収支補正予算（第1号）について ② シルバーいきいきフェスタ2016の参加について ③ 平成28年度三重県シルバーの日の実施について ④ シルバーだより(VOL.3)の発行について ⑤ 有馬地域班の設置について ⑥ 地域班との意見交換会について
1月11日	第4回理事会	① 平成28年度収支補正予算（2号）について ② 定款の整備について ③ 配分金単価について ④ 安全就業について ⑤ 任期満了による役員を選考について
3月24日	第5回理事会	① 平成28年度収支補正予算（第3号）について ② 定款の一部変更（案）について ③ 平成29年度事業計画（案）について ④ 平成29年度収支予算（案）について ⑤ 第1次中・長期基本計画の見直しについて ⑥ 配分金の現状及び見直しについて ⑦ 平成29年度定時総会について

〈検証と課題〉

28年度は理事会を5回開催しましたが、現状の把握、情報の提供について十分な材料を提供することができませんでした。

今後、理事会のさらなる充実を目指して、定期的に理事会を開催し、センターの現状把握と的確な情報の収集・提供に心がけ理事全員による会員のためのセンター運営を目指してまいります。

(2) 組織体制の強化について

会員の自主的、自発的な活動さらには会員のセンター運営参画意識や相互の連帯感を高めるため、4つの地区に地域班を設置していますが、28年度は、未設置地区において地域班を設置することができませんでした。引き続き、全ての地区での組織化に向けて取り組んでまいります。

また、五郷・飛鳥地区の地域班との意見交換会を開催し、就業開拓や会員拡大等について幅広く会員から意見を聴収しました。

〈検証と課題〉

シルバー人材センター運営に欠かすことのできない会員の意見等について、事務局と地域班との意見交換の場を全地区において年1回程度開催していく必要があります。

○各地域班役員一覧

地区名	班長	副 班 長		
久生屋・金山	今西 速男	門 拓	山田 認	
五郷・飛鳥	大谷 利次	井上 修		
木 本	小川 雅司	岡 禮 一	中村 孝子	
井 戸	松田 攻	平野 すみ代	西 賢二	濱中 敏

2 会員の状況等について

(1) 会員数

性別 \ 期間	年度当初	動 向		28年度末日	増 減
		入会	退会		
男	72	10	10	72	0
女	30	2	3	29	△1
計	102	12	13	101	△1

(2) 会員構成

性別 \ 区分	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80歳 以上	計	比率 (%)
男	6	28	22	11	5	72	71.29
女	4	10	7	6	2	29	28.71
計	10	38	29	17	7	101	100.00
比率 (%)	9.90	37.63	28.71	16.83	6.93	100.00	—

平成29年3月末現在の会員数は101名であります。昨年度の加入会員は12名、退会会員は13名、昨年当初と比較して1名の減少です。

昨年度退会した会員の退会理由につきましては、死亡による者1名、健康上の理由による者が5名、他で就業が1名、家庭事情が1名、加齢による者2名、その他3名となっています。

入会受付については、事務局において通年行ってまいりました。また、「三重県シルバーの日」のボランティア活動時に会場において入会相談コーナーを設けるほか

就業開拓と併せて会員拡大について啓発を行ってまいりました。

平成29年4月1日現在、熊野市の60歳以上の人口は、男性3,619人、女性5,026人、合計8,645名で、人口に占める割合は49.5%で内会員数の割合は1.2%の状況であります。

シルバー人材センターの目的は、60歳以上の健康で就労意欲のある高齢者に就業の機会を提供することにより、生きがいの充実と社会参加の推進を図ることにあります。

熊野市でも、就労意欲を持つ高齢者の方がまだ多くいると思われれます。今後も「一人の会員が一人の新入会員を！！一人の会員が一つの就業開拓を！！」をスローガンに会員拡大と就労の機会確保に努めていく必要があります。

〈検証と課題〉

会員の拡大については、65歳定年延長や継続雇用等によりシルバー人材センターへの加入を難しくしている要因の一つとして考えられますが、あらゆる機会を通じて会員の加入を呼び掛けていく必要があります。

今後は、具体的な入会活動等の在り方等について検討して取り組んでまいります。

3 就業機会の提供実績及び開拓について

- (1) 平成28年度の契約件数は、新規の派遣事業を含めると、公共事業では1件の減、事業所及び家庭などでは127件の減で、前年度より128件少ない973件の受注件数となりました。契約金額においては、請負・委任契約金額は33,553,245円で昨年度と比較して827,652円の減となりましたが、派遣事業の契約金額1,323,407円を加えると495,755円の増額となりました。

これは、御浜町がシルバー人材センターを設立しことにより、御浜町からの受注件数が大幅に減少したことによるものと新たに就業開拓を行ったことや派遣事業を新規開拓した受注契約による結果となっています。

- (2) 平成28年度の就業率は、86.1%と前年度より1.8ポイント上がりました。100%の就業率を目指し、常に広く就業の機会を開拓し、全ての会員に就業の機会を提供できるよう取り組んでいく必要があります。

このために、就業機会の開拓については、事務局だけでは限界があることから役職員・会員が一丸となった開拓について引き続き検討する必要があります。

- (3) 28年度から熊野市中学校学校給食配送及び回収業務に会員3名を派遣するシルバー派遣業務開始しましたが、今後、新たな派遣事業の開拓と会員の確保に向けて取り組んで行く必要があります。

〈検証と課題〉

新たに御浜町にシルバー人材センターが設立されたことによりその影響は大きいものがありますが、市内においてシルバー人材センターを必要としている家庭や

事業所などはまだまだ潜在していると思われます。

会員の拡大と就業機会の開拓に向けて積極的に取り組んでいく必要があります。

また、第1次中・長期基本計画の目標数値による受注件数は、28年度は950件でしたが、それを上回る973件で23件の増となりました。

契約金額では、目標額36,652,000円でしたが、結果は、34,876,652円で1,348.000円満たない結果となっています。

就業率では、前年度実績より1.8ポイントの増となったものの、計画の目標数値に1.9ポイント満たない結果となっています。

受注件数の増加内容及び就業率の実態等について検証を行い、その対策等を模索していく必要があります。

○平成28年度契約件数、契約金額等

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額(単位円)			
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	派 遣 (民 間)	合 計
4	67	52	472	692,075	1,161,062	133,382	1,986,519
5	91	62	574	728,544	1,801,905	119,163	2,649,612
6	87	66	651	1,256,456	1,784,896	139,641	3,180,993
7	123	74	685	1,158,640	2,268,309	91,124	3,518,073
8	114	75	613	919,875	2,082,495	0	3,002,370
9	113	78	720	1,030,525	2,424,035	119,563	3,574,123
10	98	79	778	1,087,288	2,820,237	150,706	4,058,231
11	120	84	734	679,546	3,061,697	132,080	3,873,323
12	87	84	680	1,014,351	2,491,098	98,334	3,603,783
1	33	84	477	610,898	1,470,304	112,153	2,193,355
2	20	85	408	661,551	852,527	139,641	1,653,719
3	20	87	407	628,054	866,877	87,620	1,582,551
合 計	973 (1,101)	—	7,199 (6,732)	10,467,803 (10,755,785)	23,085,442 (23,625,112)	1,323,407 (0)	34,876,652 (34,380,897)
差	△128	—	467	△287,982	△539,670	1,323,407	495,755

(注) ① 表中()内は前年度実績

② 公共：民間：派遣＝30.01：66.19：3.80

4 安全・適正就業について

熊野市シルバー人材センターの安全・適正就業については、安全就業委員会と適正就業委員会の2つの委員会を設置しています。

安全就業につきましては、安全就業委員会を2回開催し、安全就業に関するチェックリストについて検討を行い、29年度から活用していくこととしています。

また、就業中の事故に関しては重篤事故の発生はなかったものの、傷害事故は3件、賠償事故は2件の事故が発生しました。

また、御浜町シルバー人材センターとの合同による「安全・適正就業研修会」を11月16日（水）熊野市林業会館で開催し、会員28名が受講しました。

その他、県連合会が主催する「三重県安全就業推進大会」や「安全・適正就業パトロール」につきましても参加しました。

〈検証と課題〉

安全な就業確保、適正な就業形態の確保は、シルバー人材センターにとって欠かすことのできない最重要課題でもあります。

会員が安全に就業することは基本的かつ重要な事項であり、発生した事故の原因を分析するなどして徹底した安全対策を講じていかなければなりません。今後も引き続きヘルメットの着用等安全面での指導を徹底し、会員一人一人の安全就業の確保に取り組んでいくとともに、安全対策マニュアル等についても引き続き検討してまいります。

適正就業については、「適正就業基準に関する要綱」に基づき、就業時間の制限、就業モラルの確保など、より多くの会員に安全で公平な就業機会の提供に努めていく必要があります。

安全就業については、安全就業マニュアル等の作成を早急に行い、会員に対して安全就業に対する意識付けを図る必要があります。

○傷害及び賠償事故発生状況

年度	傷害事故	賠償事故	合計
24年度	2	0	2
25年度	2	6	8
26年度	4	4	8
27年度	1	2	3
28年度	3	2	5

○適正就業委員及び安全就業委員

委員会名	委員長	副委員長	委員
適正就業委員会	喜田 裕一郎	今西 速男	松島 宏之
			高野 久喜
			松田 攻
安全就業委員会	山本 勝海	松田 攻	日浦田 満
			東 長生
			岡田 住夫
			山川 和男

5 その他

(1) ボランティア活動については、シルバー事業の社会的意義を高めるとともに、会員相互の交流、シルバー人材センター事業の普及・啓発活動として設定された、「三重県シルバーの日」の取り組みに参加いたしました。

また、シルバー人材センターは「福祉の受け手から社会の担い手」を合言葉に展開している「福祉・家事援助サービス月間」に次のような取り組みを行いました。

月 日	活 動 目 的	活動場所及び内容	参加者
10月22日	「三重県シルバーの日」の普及・啓発促進月間中に奉仕活動を実施。シルバー人材センターの社会的意義をアピール	山崎運動公園内の除草と剪定作業並びに会員入会説明会の同時開催	32名
1月21日	「福祉・家事援助サービス月間」中に、福祉家事援助サービス事業を地域社会へアピール	井戸町 ひまわり会「井戸保育所」において垣根の剪定及び、草抜き 窓ふき作業	26名

(2) 高齢者活躍人材育成事業

三重県シルバー団体連合会の受託事業で、高齢者に人手不足分野等で就業する機会を円滑に提供できるようにすることを目的とした下記の「技能講習」を御浜町・紀宝町との合同により、熊野市を会場に実施しました。

講習名 伐木・刈払機講習

講習日 平成28年4月26日から4月28日までの内3日間

受講者 24名

(3) 「熊野市シルバーだより」の発行について

「シルバーだより」を年4回（4月・6月・10月・1月）発行いたしました。内、新年号をカラー印刷にしたほか、内容の充実を図りました。内容は、平成27年度の決算状況、シルバー保険の概要、シルバーの日の啓発、会員拡大PR、福祉・家事援助サービス月間の取り組みなどを会員に周知するほか、会員の紹介等を掲載しました。

今後は、より充実した内容の「シルバーだより」の発行を目指してまいります。

(4) 会員の福利厚生について

会員相互の親睦と連帯意識の高揚、福祉の増進を図るための会員互助会制度について未加入会員への周知と親睦会の活動について支援を行いました。